

再発見！ 郷土の歴史と文化財 連続講座

参加
無料



● 会場：豊後高田市立図書館（集会室）

	日時 (14:00～15:30)	テーマ・講師
第1回	11月19日(土)	「六郷満山文化とは何か？」 講師：飯沼賢司氏 (別府大学)
第2回	12月3日(土)	「豊後高田の遺跡・古墳」 講師：原田昭一氏 (大分県立歴史博物館)
第3回	12月17日(土)	「吉弘氏と都甲地区の文化財」 講師：松本卓也 (豊後高田市教育委員会)
第4回	1月14日(土)	「豊後高田の仏たち」 講師：高宮なつ美氏 (大分県立歴史博物館)
第5回	1月28日(土)	「高田の近代と宇佐参宮鉄道」 講師：大山琢央 (豊後高田市教育委員会)
第6回	2月4日(土)	「豊後高田の祭礼行事～修正鬼会の世界～」 講師：段上達雄氏 (別府大学)

● 申し込み：電話またはFAXで住所、氏名、連絡先、受講希望回を下記まで申し込み下さい。

● 定員：各回 30名【申し込み順】

申し込み・お問合せ 豊後高田市教育庁 文化財室

☎(0978)53-5112 FAX(0978)-53-4731

豊後高田市の歴史・文化について理解を深めていただくために、「連続講座」を今秋より開講します。多くの方のご参加をお待ちしています。

《第1回 11月19日》「六郷満山文化とは何か？」

- 豊後高田に住んでいると、一度は聞いたことがあるコトバ「六郷満山」。でもその意味は…よく知らないな。そんな方にぜひ、おススメの講座です。国東半島は一つの大きなお寺だった?! その答えは本講座で。

■飯沼 賢司(いぬま けんじ)／別府大学 教授

1953年長野県生まれ。早稲田大学大学院文学研究科日本史専攻博士後期課程満期退学。早稲田大学助手、大分県立宇佐風土記の丘歴史民俗資料館研究員、別府大学助教授を経て現職。専門は日本古代中世史、家族史、宗教史、環境歴史学。

主な著書に『環境歴史学とはなにか』山川出版社(2004)、『八幡神とはなにか』角川ソフィア文庫(2014)、『国東六郷山の信仰と地域社会』同成社(2015)など。

《第2回 12月 3日》「豊後高田の遺跡・古墳」

- 大分県下でも屈指の規模を誇る前方後円墳は、豊後高田市真玉にあります。「真玉大塚古墳」-100mを超える大きさ、周りを囲む二重の濠…。なぜ、このような大古墳が真玉に造られたのでしょうか？ 古代のナゾに迫ります！

■原田 昭一(はらだ しょういち)／大分県立歴史博物館 企画普及課長

大分県宇佐市生まれ。同志社大学大学院文学研究科文化史学専攻博士前期課程修了。大分県庁入庁後、大分県埋蔵文化財センター勤務などを経て現職。専門は日本考古学。主な論文に「近世墓の成り立ちと六道銭」『六道銭の考古学』高志書院(2009)、「九州における御影石製石塔の動態」『御影石と中世の流通』高志書院(2013)など。

《第3回 12月17日》「吉弘氏と都甲地区の文化財」

- 戦国時代の英雄-吉弘統幸、立花宗茂などを輩出した吉弘一族とは？ また彼らが拠点としていた都甲地区には多くの知られざる文化財がたくさんあります。中世の豊後高田について深く学ぶことの出来る講座です。

■松本 卓也(まつもと たくや)／豊後高田市教育委員会 主事

1990年宮崎県生まれ。早稲田大学文学学術院日本史学コース修士課程修了。2014年度より現職(担当は文化的景観・名勝など)。専門は日本中世史。主な論文に「中世宇佐宮の造営システムと大内氏」『鎌倉遺文研究』31号(2013)など。

《第4回 1月14日》「豊後高田の仏たち」

- 「仏の里」豊後高田。人々の祈りの気持ちは、数多くの仏像となって今日まで受け継がれています。仏像の見方、仏像についての知識が増えると、お寺巡りも一層楽しくなります。

■高宮 なつ美(たかみや なつみ)／大分県立歴史博物館 学芸員

東京都生まれ。学習院大学大学院人文科学研究科美術史学専攻博士後期課程を経て現職。専門は日本美術史、仏教美術史。主な論文に「大楽寺所蔵「仏涅槃図」について」『大分県立歴史博物館研究紀要』第15号(2014)など。

《第5回 1月28日》「高田の近代と宇佐参宮鉄道」

- 豊後高田にはかつて「宇佐参宮鉄道」と呼ばれる鉄道が走っていました。「昭和の町」が形作られるきっかけとなった近代にスポットをあてて、懐かしい資料とともに「あの頃の鉄道と地域」についてふりかえってみましょう。

■大山 琢央(おおやま たくひさ)／豊後高田市教育委員会 主任

1979年岡山県生まれ。別府大学大学院文学研究科文化財学専攻博士後期課程満期退学。別府大学文化財研究所研究員・同大学非常勤講師を経て現職。専門は人文地理学、観光地理学。主な論文に「耶馬溪鉄道における株主分布とその社会的属性」『平尾良光先生古稀記念論集 文化財学のいざない』(2013)、「鳥瞰図に描かれた別府温泉」『史学論叢』44号(2014)など。

《第6回 2月 4日》「豊後高田の祭礼行事～修正鬼会の世界」

- 毎年、旧正月に天念寺で行われる「鬼と炎の舞」-修正鬼会。この歴史ある不思議なお祭りについて、学んでみませんか？ 前日(2月3日(予定))に行われる鬼会を見て、翌日そのお祭りの意味を講座で再認識するのも一興です。

■段上 達雄(だんじょう たつお)／別府大学 教授

1952年大阪府生まれ。武蔵野美術大学大学院造形研究科修士課程修了。在学中に日本民俗学の大家である宮本常一に師事する。大分県立宇佐風土記の丘歴史民俗資料館研究員、文化庁伝統文化課文化財調査官を経て現職。専門は日本民俗学、民具学。

主な著書に『大分の民俗』葦書房(1992)、『神と仏のいる風景』山川出版社(2004)、『大分県謎解き散歩』新人物往来社文庫(2012)など。